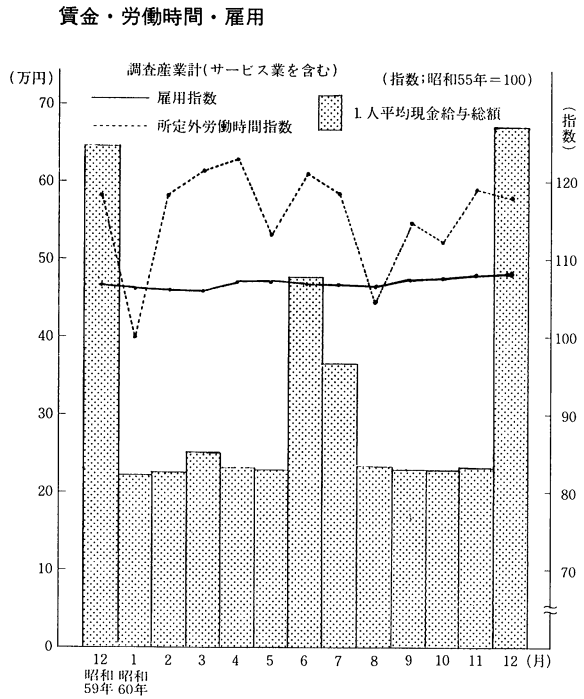
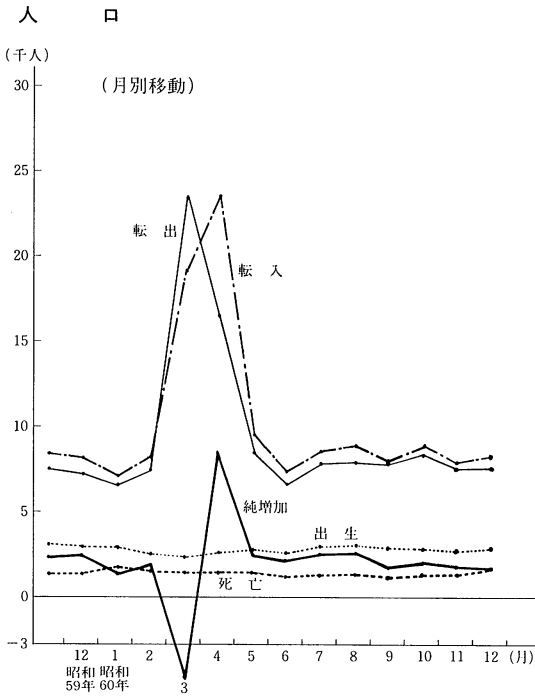
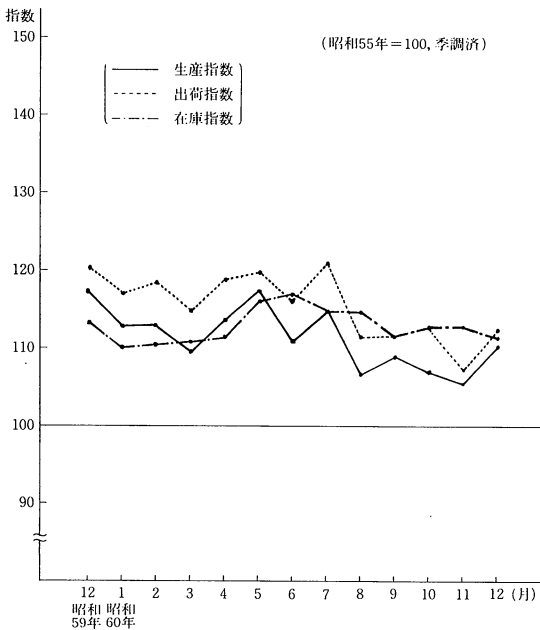


●今月の主な動き

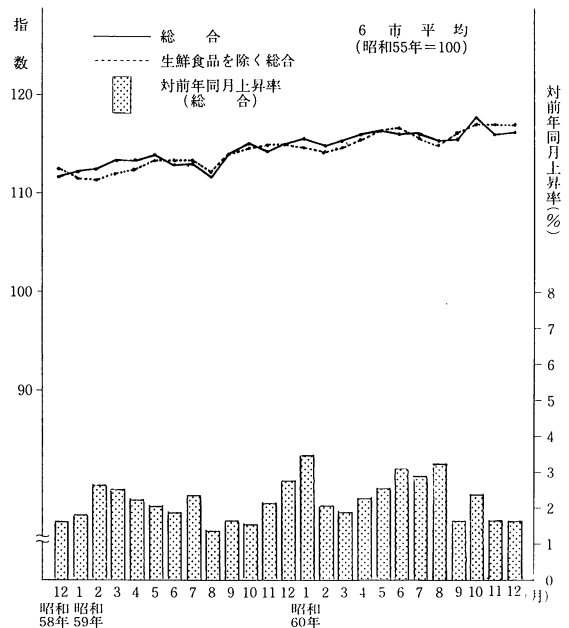
今月の主な動き



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口(1月1日)

本県の人口は、12月中に1,723人増加し、1月1日現在で2,730,629人となった。60年中の人口増加は24,109人(0.89%)で、昭和59年(0.97%)を下回った。

内訳は、自然動態で1,113人(出生2,846人、死亡1,733人)、社会動態で610人(転入8,102人、転出7,492人)それぞれ増加した。

市町村別では、増加が12市58町村、減少が6市12町村、増減なしが4町村である。

世帯数についても、330世帯増加して、759,597世帯となった。

なお、世帯数は昨年中に12,117世帯(1.61%)増加している。

■賃金・労働時間・雇用(12月)

1. 平均賃金の推移

12月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は674,881円で前月に比べ186.5%増(前年同月比3.8%増)であった。

このうちきまって支給する給与は231,493円で前月に比べ0.9%増(前年同月比3.6%増)であり、特別に支払われた給与は443,388円で前年同月に比べ20,452円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は181.0時間で、前月に比べ1.6%減(前年同月比0.7%減)であった。

このうち所定内労働時間数は162.4時間で、前月に比べ1.6%減(前年同月比0.7%減)であり、所定外労働時間数は18.6時間で、前月に比べ1.1%減(前年同月比0.3%減)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、108.0で、前月に比べ0.1ポイント増、前年同月に比べ1.3ポイント増であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(12月)

本県における昭和60年12月の“鉱工業指数。(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が110.5、出荷が112.3、在庫が111.4で、前月比は、生産が4.2%の上昇、出荷が4.3%の上昇、在庫が1.3%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が5.9%、出荷が6.3%、在庫が1.7%それぞれ低下した。

業種別にみると、生産では、輸送機械、一般機械、精密機械等が上昇し、石油・石炭製品、食料品・たばこ等が低下した。出荷では、輸送機械、一般機械、電気機械等が上

昇し、鉱業、食料品・たばこ等が低下した。在庫では、鉱業、精密機械、鉄鋼業等が上昇し、非鉄金属、石油・石炭製品等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、資本財、耐久消費財等が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財等が低下した。出荷では、資本財、耐久消費財等が上昇し、非耐久消費財が低下した。在庫では、非耐久消費財、耐久消費財が上昇し、その他用生産財、建設財等が低下した。

■消費者物価指数(12月)

昭和60年12月の茨城県消費者物価指数は、総合で116.6(昭和55年=100)となり、前月比0.3%、対前年同月比1.7%の上昇となった。

今月上がった主な項目……野菜・海草4.3%、乳卵類2.5%、家賃1.2%、シャツ・下着0.9%、衣料0.6%、家庭用耐久財0.5%

今月下がった主な項目……他の光熱△2.6%、身の回り用品△2.4%、魚介類△1.6%、油脂・調味料△1.0%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	116.6	0.3	1.7	保健医療	117.2	0.0	3.3
食 料	114.6	0.4	0.2	交通通信	111.6	0.0	1.9
住 居	120.5	0.8	4.9	教 育	140.2	0.0	4.4
光熱・水道	107.4	△0.3	△1.5	教養娯楽	117.8	0.3	2.5
家具・家事用品	111.3	0.3	2.0	諸 雑 費	114.0	△0.4	0.2
被服及び履物	125.8	0.6	4.8	生鮮食品を除く総合	117.4	0.2	2.2